



事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・周辺環境に大きな変化はない。

事業の進捗状況、残事業の内容等

事業進捗率 約3%、用地進捗率 約6%

山国ICを中心に調査・設計業務を進めており、必要な用地の取得、早期工事着手に努める。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

・調査・設計を進め、用地の取得を推進していく。

施設の構造や工法の変更等

・建設発生土の事業内流用やトンネル工事のコスト縮減等、総コストの縮減に努めていく。

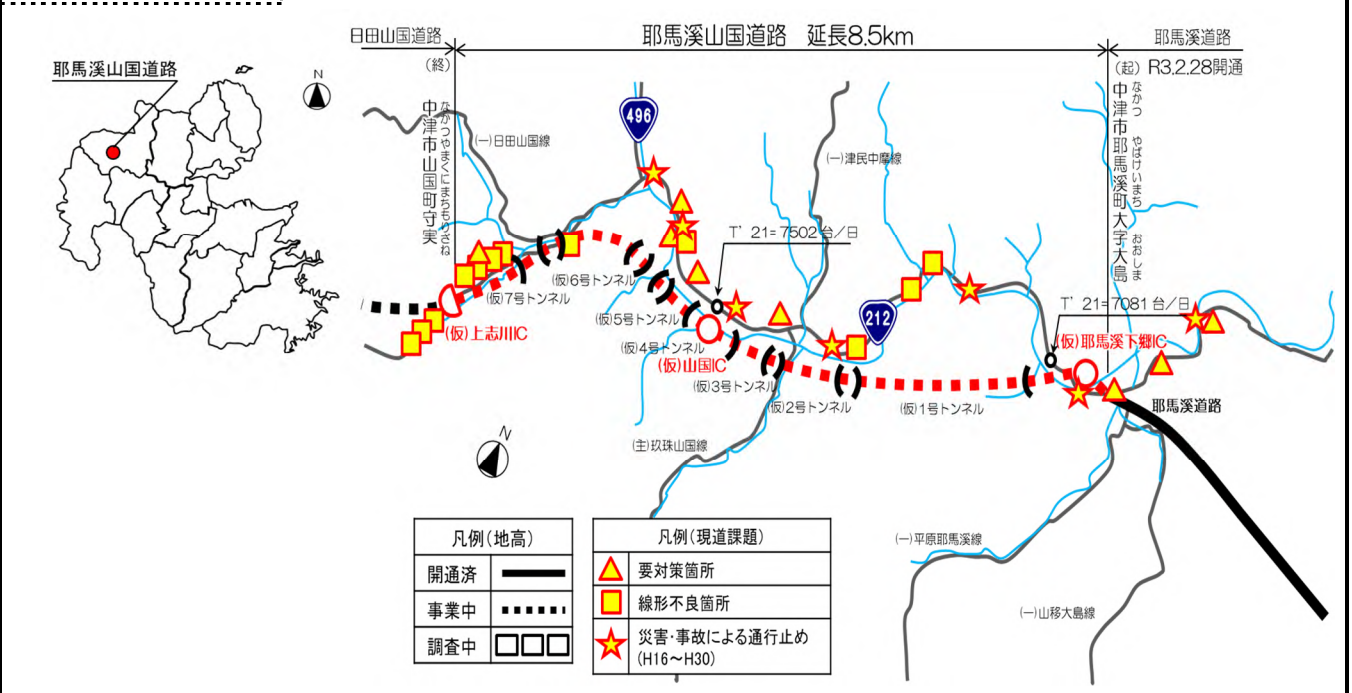
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

・事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)